

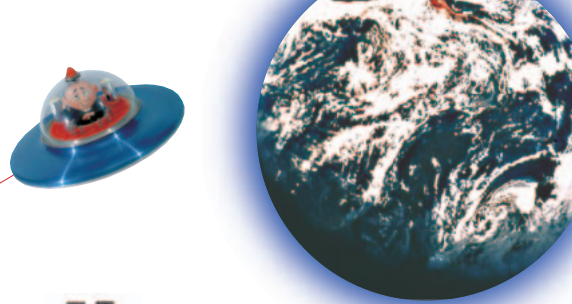
ショックウエーブやリアルオーディオを使ったホームページがポピュラーとなりつつある今、もっと人と違うダイナミックな仕掛けのホームページを作りたい! と思っているあなた。いつそのことライブカメラで個人放送局を開局してみては?



旬のアイデア大募集!

Live Camera

「**ライブカメラ**」で
あなただけの
放送局を作ってみよう!



インターネットで 個人放送局を開局!

ホームページ作成がブイブイになりつつある今、人とは違ったホームページを作りたいと考えている読者も多いはず。しかし、いざ作り出すとぶつかるのが企画の壁。「何を発信したらいいのだろうか?」いろいろと悩んだあげくに「アイデアが出るまで少し待とう」という結論に落ち着く人や、せっかくHTMLタグバリバリのクールなページを作っても、日々のホームページ作成テクニックの急激な進歩で、自分のページに満足できなくなってしまった人も多いのでは?

それでも「ホームページのアクセス数を伸ばしたい!」「ライブな情報を見せたい!」というアグレッシブな人におすすめなのが、QuickCamやビデオカメラを利用したライブカメラのコンテンツ。

ビーブホール(覗き穴)ともいわれるカメラを使って、インターネットにしかない楽しい放送局を作ってみよう!



スペースシャトルから 幽霊監視まで ライブカメラサイトは花盛り!

ライブカメラの醍醐味は、なんとといっても、速くの情報を瞬時に覗き見られること。スペースシャトルからの宇宙映像もあれば、富士山を365日映し続けているものや、道路の渋滞を動画で中継しているものまでさまざまなコンテンツがある。静止画像でも状況が画像で送られてくるのはとても嬉しいのだが、最近ではリアルタイム画像再生ソフトを使ったストリーム系のものまで登場して、よりきめ細かな情報が得られるので、思いがけない瞬間を目撃してしまうかもしれないぞ!



見るほうもワクワクドキドキ! そこが人気の秘訣!

行ったことがない世界を覗き見できるライブカメラサイトは、見るほうもドキドキしながら楽しめるのが魅力だ。

たとえばニューヨークの街中にセッティングされたライブカメラで流行と犯罪の大都市をウォッチすれば、気分はもうニューヨーカー。イエローキャブの走るブロードウェイやビルイルミネーションは朝から晩まで見ている飽きない景色。

ところで、ライブカメラのコンテンツで最も多いのが、アングルが固定された静止画像を一定時間ごとに更新するタイプ。しかし、最近ではNECやキャノンのサイトのように、カメラのアングルやズームをリモート操作できる新しいタイプのものが登場してきた。自分が見たいものをズームアップしたり、パンしたり、思うがままにカメラが操れるのだ!

日本から数千キロメートルも離れた所にあるカメラを家からリモート操作できるのもライブカメラ放送局ならではの。

また、NTTドコモのホームページではドコモライブと題して、携帯電話や衛星携帯電話を利用して、ビデオカメラでとらえた西表島や小笠原の生の映像をストリームワークスで放送している。モンゴルからの日食の中継なども記憶に新しいところだが、これからはライブカメラも動画の時代になりそうだ。



NTTドコモライブはストリームワークスで放送されている(西表島からの映像)
URL <http://www.nttdocomo.co.jp/tv/sw.html>



世界の面白ライブカメラサイトを 覗いてみよう!

数千にも及ぶライブカメラを扱ったホームページには、それぞれの目的や意図があり、制作者もNASAなどの研究機関から企業や個人まで、その規模や方法もさまざまだ。

たとえば、エベレストや南極基地などの極地映像をはじめ、高速道路の渋滞情報や、ひたすらバス停の時刻表を映し続けている生活密着型のもは、今やライブカメラのスタンダード。変わり種としては、最近流行の「たまごっち」の成長記録を見せるものや幽霊の出現を見守りつづけるものまであるので、是非一度アクセスしてみよう。



NECのインターネット放送局はJAVAでカメラの遠隔操作ができる
URL <http://sv2.camera.meshnet.or.jp/nec-sea/ibs.htm>



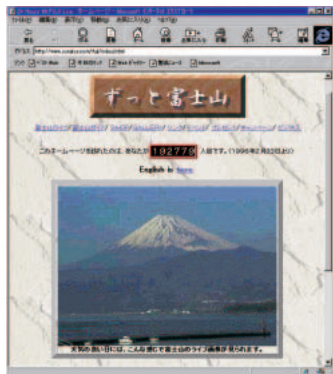
独自のWebViewのシステムを使ったキャノンのホームページWebView/Livescope
URL <http://www.x-zone.canon.co.jp/WebView/>





意外なところに
カメラが潜入してた!

ところで、普段見られない映像がホームページで見られるのがライブカメラのイイところ。本国アメリカのMGMスタジオにあるディズニーランドの様子や、ハワイのマウイ島の情報などは、旅行前にあらかじめチェックすることもできるので非常に嬉しいのだが、なかには理解しがたいものも沢山ある。どこかの家の中やイグアナの檻の中継はまだまだ序の口で、あろうことかトイレの中にまで設置されている！これじゃプライバシー無視。「誰かが入ってきたらどうしよう・・・」とこっちがドキドキしてしまう。これからライブカメラのホームページをやろうと思っている人もこれは絶対に真似しないように。せっかくやるなら役に立って面白いものを発信しよう。



富士山ライブカメラ
URL <http://www.sunplus.com/fuji/indexj.html>



ネットサーファーもビックリの
ライブカメラサイトを作ろう!

テレビ番組の善し悪しは企画次第。つまり、いかに皆をアツク言わせられるかがポイントだ。たとえば、新宿や渋谷の待ち合わせ場所や、アミューズメントパークの駐車場の混みぐあいやプールの混みぐあいが見られれば便利だし、野球場やサッカー場にあればプロの試合も見られる。ギャンブル好きには競馬場やレース場にあるのも非常に役に立つのでゲー。「銭湯の女湯にあればなあ?」と考える男性諸君も多いと思うが、もっとスケールを大きくもって三原山の火口とか、富士スピードウェイとかもひきがあるかもしれない。かといって、決してアイドルタレントの家の前や、公衆電話の中などには設置しないように!

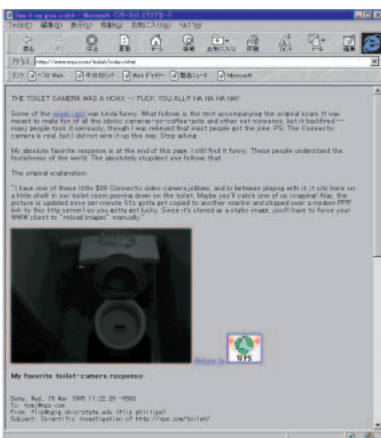
最近、QuickCamと「ISPY」「WebCam」などのソフトさえあれば比較的簡単にライブカメラのホームページを作れるので、今までのホームページにライブカメラを加えて、あなただけの放送局を作ってみてはいかが? ワクワクしながら世界中のネットサーファーがアクセスしてくるかもしれないゾ。



夕日が美しいハワイのワイキキビーチの映像
URL <http://www.eng.hawaii.edu/~csp/Trafficam/index.html>



幽霊監視カメラ その名もゴーストウォッチャー
URL <http://www.flyvision.org/sitelite/Houston/GhostWatcher/platform/allcam.html>



覗かれているトイレ
URL <http://www.wps.com/toilet/index.html>

一度は見たいURL

- 本国ディズニーランドのライブカメラ
URL http://www.disney.com/DisneyWorld/cgi-bin/_SeeMGM.cgi
- ケネディ宇宙センターの指令センターのモニター
URL <http://www.geocities.com/SiliconValley/1080/nasacams.html>
- 毎日新聞社アウロス編集部が購入したたまごっちの成長を見ることができるホームページ
URL <http://aulos.mainichi.co.jp/scarlet/egg/index.html>
- イグアナの成長が見れるホームページ
URL <http://iguana.images.com/dupecam.html>
- ナイアガラの滝のようすが一目瞭然
URL <http://www.fallsview.com/falls.html>
- 日々のエベレスト山頂付近の映像を見ることができる
URL <http://www.m.chiba-u.ac.jp/class/respir/ismm98j.htm>
- エンパイアステートビルディングが見れるライブカメラ
URL <http://metaverse.com/empire.html>
- オーストラリアの南極探検隊から送られてくる南極の映像
URL <http://www.antdiv.gov.au/aad/exop/sfo/mawson/video.html>

WebView/Livescope企画大募集!

あなたもライブカメラのプロデューサーになろう!

インターネットマガジンでは、キヤノン株式会社の遠隔操作が可能なライブカメラシステムWebView/Livescopeを使った、ライブカメラの企画を大募集中。あなたのアイデアがキヤノンのホームページで実現します! インターネットマガジンのホームページでもゲリラ的に実験放送をしているのでチェックしてみよう。

URL [http://www.impress.co.jp/magazine/inetmag/ WebView/](http://www.impress.co.jp/magazine/inetmag/WebView/)
 首振り&リモート性能をフルに活用できるライブカメラ企画をドシドシ応募してください!



WebView/Livescopeのコントロール画面。縦・横のコントロールバーでカメラをリモート操作。右の縦のバーでズームができる。

**首が
ふれる!**



WebView/Livescopeのスペック一覧	
カメラサーバ	
コンピュータ	指定のIBM PC/AT互換機
OS	WindowsNT 4.0
映像入力カメラ	キヤノンコミュニケーションカメラ VC-C1 Mk-II
映像圧縮方式	JPEG (Motion JPEG)
画像サイズ	80×60～640×480 まで5通りのサイズを選択可能
パン角度	±50度
チルト角度	±20度
ズーム倍率	8倍
映像伝送プロトコル	HTTP (ライブ静止画モード)、独自 (ライブ動画モード)
WebView/Livescopeビューソフト	
対象コンピュータ	IBM PC/AT互換機、またはMacintosh
OS	Windows95、WindowsNT3.51以降、またはMacOSシステム7.1以降
Webブラウザ	Netscape Navigator 2.0以上またはMicrosoft Internet Explorer 3.0以上
ビューのタイプ	プラグインタイプとヘルパーアプリケーションタイプの2通り (マック用はヘルパーアプリのみ)

8倍ズームができる!



WebView/Livescopeの機能を知ろう!

まずは、キヤノンのホームページにあるライブカメラのコンテンツを見ていただきたい。富士山ライブをはじめ湘南海岸の材木座海岸やニューヨークタイムズスクエアの生の映像をリモートで遠隔操作しながら眺めることができる。

映像をブラウザで見るためには無償で提供されているビューアソフトウェアをダウンロードする必要がある。ソフトウェアは2種類あり、ネットスケープナビゲータやインターネット・エクスプローラのプラグイン用と、ヘルパーと呼ばれるアプリケーションを使用する方法。Windows95にも、マッキントッシュ (ヘルパーアプリのみ) にも対応している。

このシステムは、キヤノンがインターネットの世界でリアルタイム映像を発信するため

に開発したもので、設置されたカメラをリモート操作しながら景色を楽しめるというものだ。応募する前に是非一度ご覧いただきたい。<http://www.x-zone.canon.co.jp/WebView/>へアクセスせよ!

応募締切り: 平成9年5月末日
 応募方法: メールもしくは葉書に具体的な設置場所、目的、その理由を50字以内で明記のうえ、氏名・連絡先を記入し、下記までご応募ください。
 応募先メールアドレスおよび問い合わせ窓口:

✉ WebView@impress.co.jp
 住所 〒102 東京都千代田区三番町20番地
 ㈱インプレス インターネットマガジン編集部
 WebView/Livescope企画応募係
 最優秀賞 (1名) にはキヤノンのホームページ上で企画を実現。賞品としてキヤノンのデジタルカメラPowerShot350とインプレス特製クロノグラフ時計および、キヤノングループのプロバイダーであるファストネット㈱の「ダイヤルアップ接続の1年間無料サービス」を贈呈。
 優秀賞 (2名) には賞品としてキヤノンのAPSシステムのカメラIXY (IX240) とファストネッ

ト㈱の「ダイヤルアップ接続の1年間無料サービス」を贈呈。

アイデア賞 (5名) には賞品としてキヤノン特製のレンズクロックとファストネット㈱の「ダイヤルアップ接続の1年間無料サービス」を贈呈。

審査方法: キヤノン株式会社、キヤノン販売株式会社およびインターネットマガジン編集部による審査。

審査結果: インターネットマガジン9月号の誌面および、キヤノンのホームページ上で各賞を発表。システムの設置および回線の確保はキヤノン株式会社がいたしますので、楽しく実現可能なアイデアをドシドシ応募してください。各賞については本誌でも事例として取り上げさせていただきます。

応募要項



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp